



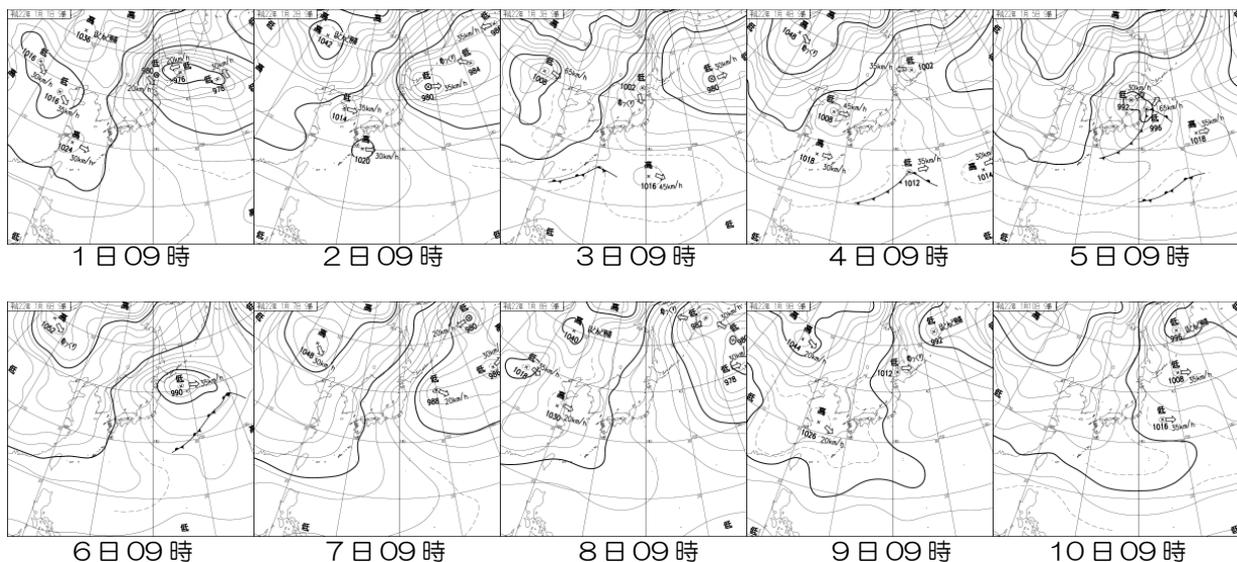
2010年1月14日 青森地方气象台発行

【1月上旬の気象経過】

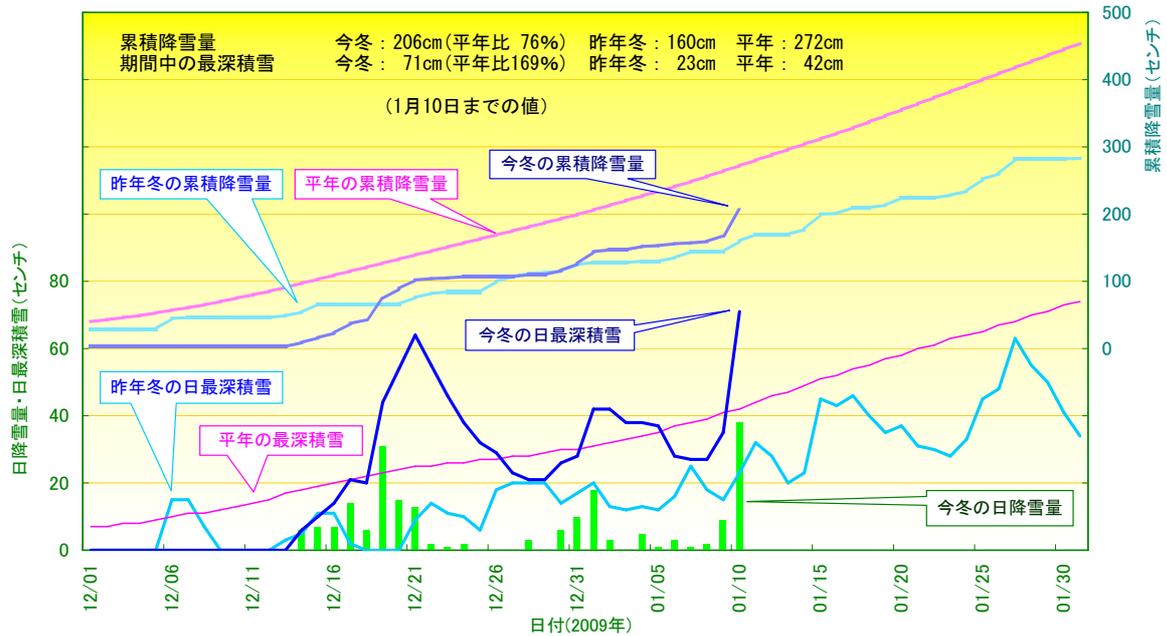
〈概況〉 この期間、中頃は低気圧の接近通過に伴い冬型の気圧配置が緩んだが、その他の日は冬型の気圧配置が続き曇りや雪の日が多かった。特に1日は冬型の気圧配置が強まり弘前では降雪の深さの日合計40センチの大雪となった。また、10日は青森で降雪の深さの日合計38センチの大雪となった。平均気温はむつで高く、青森・深浦・八戸で平年並だった。降水量はいずれもかなり多かった。日照時間は青森・深浦で平年並、むつ・八戸で少なかった。

〈日々の気圧配置〉

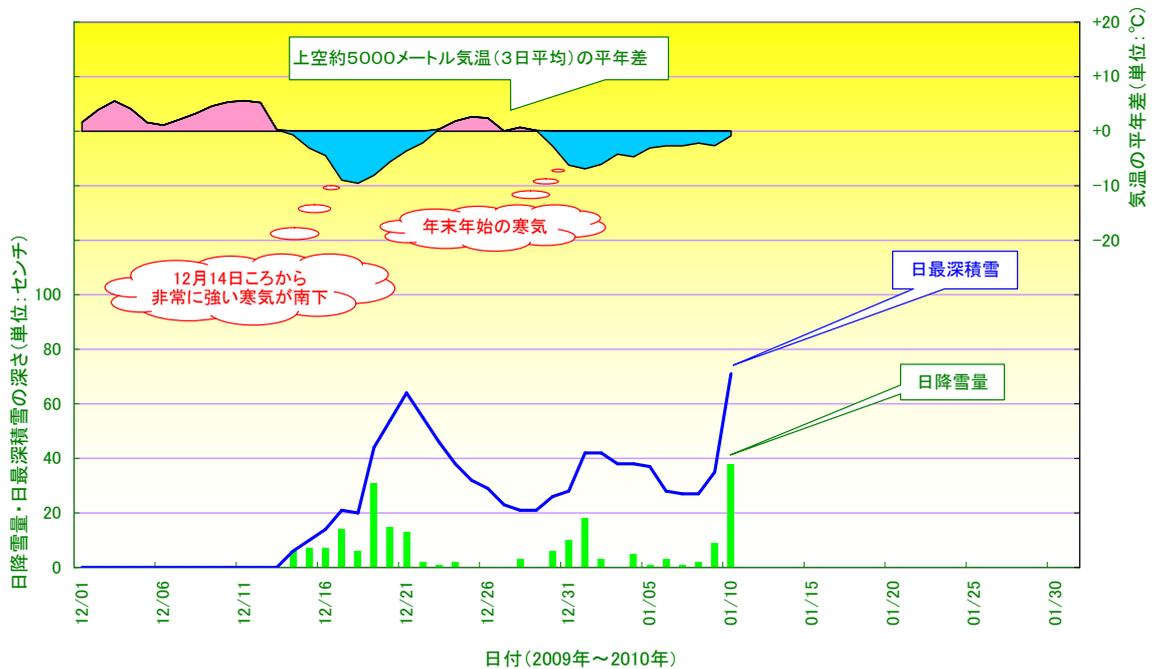
- 1日：北海道の北東海上に発達中の低気圧があって、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。
- 2日：北日本は強い冬型の気圧配置が続いた。
- 3日：北日本は冬型の気圧配置となった。また、渡島半島の西に低気圧があって南に進んだ。
- 4日：朝鮮半島の西に低気圧があって東北東に進み、北日本の冬型の気圧配置が緩んだ。
- 5日：秋田沖に低気圧があって東北東に進んだ。また、三陸沖に前線を伴った低気圧があって北東に進んだ。
- 6日：三陸沖に低気圧があって東に進み、日本付近は冬型の気圧配置となった。
- 7日：日本の東に低気圧があって東に進み、日本付近は冬型の気圧配置となった。
- 8日：日本付近は冬型の気圧配置が続いた。
- 9日：日本付近は冬型の気圧配置が続いた。また、北海道の西に低気圧があって東に進んだ。
- 10日：北日本は冬型の気圧配置が続いた。



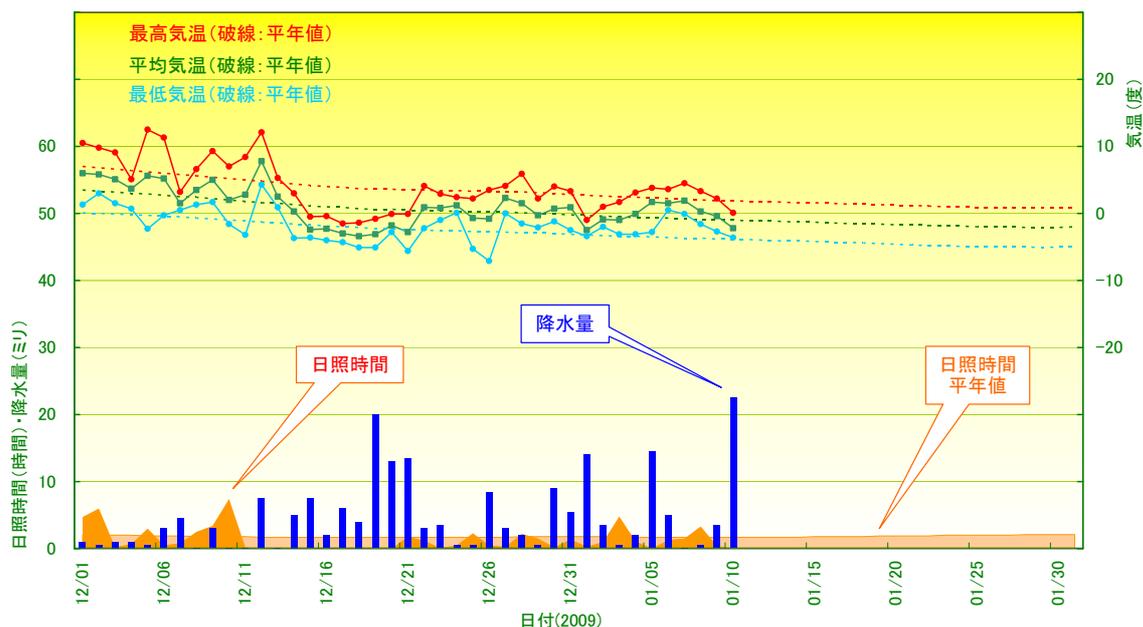
【12月1日からの雪の経過〔青森〕】



【上空の気温と降雪】



【12月1日からの気象経過〔青森〕】



【編集後記】

年末から年始にかけて強い寒気が南下した後、上空約 5000mの気温は少しずつ高くなってきていますが、まだ平年より低い状態が続いています。この間、9日には深浦で23cm、10日には青森で38cm、13日には弘前で32cm、十和田で31cm、八戸で30cmなどの大雪となりました(いずれも日降雪量)。

この冬、大雪が降った日の天気図を見ると、冬型の気圧配置と言っても等圧線がきれいな縦じま模様ではなく、日本海北部や北海道周辺に低気圧があったり、日本海で等圧線が南西に膨らむ気圧の谷があったりしました。こういう時は、平野部で大雪となることがあるので、注意が必要です。

週間予報で予想気温をみると、今週末までは寒気の影響を受けそうですが、その後、気温が高くなる予想となっています。強い寒気も一段落となりそうです。

(雲流子)



国土交通省 気象庁 青森地方気象台
 〒030-0966 青森市花園一丁目17番19号
 電話017-741-7411



気象庁ホームページ: <http://www.jma.go.jp>
 青森地方気象台ホームページ: <http://www.jma-net.go.jp/aomori/>